

ビック東海（東部エリア）第10回番組審議会議事録

日 時：平成23年8月25日（木） 16時～

場 所： ブック東海沼津

出席者： 〈審議委員〉

小室直義会長、野秋達生副会長
木内清委員、陣野原力委員
杉山靖委員、三井満委員
四本康久委員

〈㈱ビック東海〉

代表取締役専務 CATV 本部長 藤原智哉
常務取締役 CATV 事業部長代理 杉山康則
放送通信センター センター長 高塚重仁
顧問 三上誠

〈事務局〉

放送課長 平岩陽一、課長代理 小沼智彦
課長代理 遠藤昇

- 次 第： 1. 事業者挨拶
2. 新委員ご紹介
3. 会長・副会長選任
4. 審議
 ・事務局より報告
 ・番組審議「8月1日スタート 静岡県暴力団排除条例」
 ・その他
5. 閉会挨拶

議事：

1. 事業者挨拶（藤原専務）

- ・デジタル化への取り組みは10年がかりで行ってきた。引き続き地域密着のサービスを展開していく。その最たるものが、コミュニティチャンネルの番組である。
本日は忌憚ないご意見を頂戴したい。
- ・10/1に社名変更を予定している。通信事業をビック東海に集約し、TOKAIはエネルギー事業に特化することに伴うもの。

2. 新委員ご紹介

小室直義氏

（事務局より）

- ・富士宮市長を2期つとめられた。
- ・フードバレー構想による食のまちづくり、また最近では、東日本大震災の被災地支援にも力を入れられている。

3. 会長・副会長選任

- ・事務局案を全会一致で承認。
- ・会長に小室直義氏、副会長に野秋達生氏を選出。

小室会長挨拶

- ・市長時代、県内の高度情報化(光ファイバーの敷設)に関わった。
- ・市民生活の中で情報化の問題は重要な局面を迎えている。
そうしたことを認識しつつ、審議を通じてより画期的な社会の実現に寄与したい。

野秋副会長挨拶

- ・皆様のご指導をいただきながら、会長を支えていきたい。

4. 審議

・事務局より報告

放送法改正に伴う放送番組審議会規程、放送基準改正案の説明・・・了承

・番組審議「8/1 スタート 静岡県暴力団排除条例」

(委員からの意見)

- ・警察のOBだったこともあり、興味深く拝見した。
質疑応答形式の進行だったが、一般の人には固く感じられる構成だったのではないか。
- ・沼津では金岡地区の暴力団排除運動などもあり、実例を盛り込んでもよいのでは。
また今後は、教育委員会や警察少年サポートセンターの協力を仰ぎ、少年非行の問題等を取り上げたらどうか。
- ・もっと絵や写真を使用し、わかりやすくすべき。言葉で理解できるかという点と難しい。
県民に一番伝えたいのだから、確実に伝わるかを考えるべきだ。
以前制作した薬物乱用防止番組は、シリーズで6回放送したことはよかった。
- ・わかりやすく、暴力団の何が悪いかを説明すべきだ。青少年向けの番組をもっと制作してほしい。
- ・子供たちにわかりやすく伝えるために、もっと実例を取り入れてもよかったのではないか。

(制作担当者より)

- ・警察側と打合せを進める中で、色々内容を盛り込みすぎてしまった。
- ・民間・地域の実例について、実際に関わった人の声を入れてもよかったかもしれない。
- ・今後も継続して取材を行い、わかりやすく取り組みを紹介していきたい。

(会長まとめ)

- ・意見をまとめると、質疑応答形式が堅苦しく感じられたということ、
また子供たちにも影響ある問題なので、現場の実態の紹介もあってもよいのではないかということだと思ふ。
- ・今回の条例制定は社会の動きを受けたものだ。わかりやすく伝えるにはどうすれば良いのか工夫してほしい。

5. 閉会挨拶 (杉山常務)

- ・コミュニティチャンネルは、本年12月にハイビジョン化する予定。
- ・今後は民放では取り上げないような地域の細かい情報まで掘り下げて放送を行っていく。また、きょういただいたご意見をこれからの番組作りに反映させていきたい。

以上